

キャリアデザイン 1b

第9回 働く課題を知る①

キャリアの多様化

丹山 美香

本日の授業

働く環境の変化による
多様化について考える



ダイバーシティー(多様性)

<表層的ダイバーシティー>

年齢・性別・国籍・学歴・職歴・人種・民族

・宗教・性的指向・性自認・持病など

<深層的ダイバーシティー>

価値観・考え方・信仰・学歴・職歴・趣味嗜好・役職など

ダイバーシティーが社会に広がった背景

①人口の構造の変化

少子高齢化による労働力人口の減少 → 多様な人材の労働力の必要性

【多様化を受け入れるということについて考える】

多様な人材の受容：

高齢者・子育て世代女性の働き方について考える



②価値観の多様化

雇用形態の選択・転職志向の高まり・女性の社会進出・ワークライフバランスなど従来の価値観にとらわれない働き方・生き方の広がり
→企業側の雇用・労働環境の多様化を受容する必要性

【多様化を受け入れるということについて考える】

多様化の受容:雇用形態が様々な人と共に働くということについて考える

ダイバーシティーが社会に広がった背景

③ビジネスのグローバル化

海外企業の日本進出・日本の海外進出

→多様な価値観を持つ国際市場にマッチさせる必要性

【多様化を受け入れるということについて考える】

多様な価値観の受容：生活様式や慣習について考える

④消費ニーズの拡張

消費者の購買意識の多様化

→企業の多様性を重視する経営戦略の必要性

【消費者ニーズの変化とは】

- ・量より質を重視/
- ・個性を大事にして1点もののニーズの高まり
- ・機能性の「もの」→体験を重視する「コト」の購入への変化

多様な働き方の増加

重要！

ギグエコノミー

インターネットを通じた単発の仕事でお金を稼ぐといった働き方や、そうした仕事でお金が回っている経済のこと

ギグワーカー

インターネット上のサービスを介して、単発の仕事を請け負う人たちの事

(例) UberEats

* 日本では都市部を中心として、インターネット上のサービスを介して
単発的な仕事を請け負うひと(ギグワーカー)が増えている

副業

- 報酬を目的に、本業とは別の仕事を行うことを指す
- 企業によっては、就業規則の中で、副業の可否や届出について定めている。

重要！

パラレルキャリア(複業)

- 本業を持ちながら、第二のキャリアを築くこと(By P・Fドラッカー)
- 本業・副業という区別を設けず、どれも本業として複数の職や活動に取り組むようなあり方
- キャリアアップやスキルアップ、本業では得られない経験などを目的としており、必ずしもそこに収入が伴うとは限らない

働き方改革

1:労働時間法制の見直し

- 残業時間の上限の見直し
- 勤務間インターバル制度の導入
- 割り増し賃金の引上げ(残業25% → 50%)

時間外労働が1ヶ月で60時間を超えた分については、50%以上の割増率が適用(労働基準法37条1項ただし書)

2:雇用形態に関わらない公正な待遇の確保

- 不合理的な待遇差をなくすための規定整備

ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)

重要!

- やりがい・充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たす
- 子育て・介護、家庭、地域、自己啓発等にかかる個人の時間を持つて健康で豊かな生活をする
- 性や年齢などに関わらず誰もが意欲と能力を發揮して労働市場に参加できること
- ワークライフ・バランスの取り組みに積極的な企業ほど、利益が高い傾向にある
- ワーク・ライフ・バランスが課題になる背景の1つには、固定的な性別役割意識がある。

第9回 本日の キーワード

＜多様な働き方＞

- ▶コロナ禍による変化
- ▶副業
- ▶ギグワーク
- ▶ワークライフ・バランス